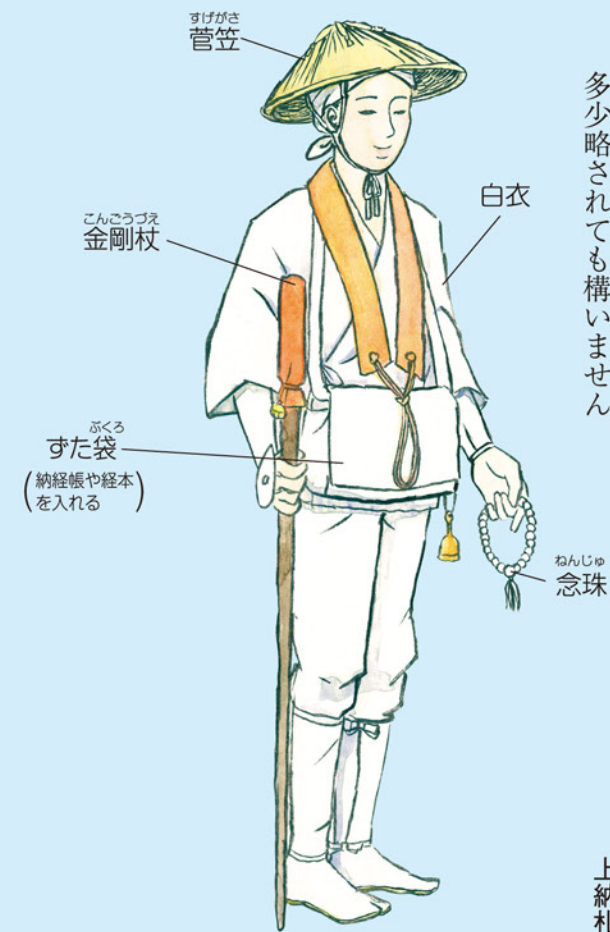


お参りの身支度と持ち物

● 本来は白装束ですが、多少略されても構いません



上納札

【お遍路用品取扱店】

福宝

〒952-1212 佐渡市泉 1312-1
TEL 0259-63-4588

吉運堂

〒952-1302 佐渡市市野沢 135-1
TEL 0259-57-2478

花善

〒952-1212 佐渡市泉 98
TEL 0259-63-4422 ☎ 0120-44-2283

菊池仏壇店

〒952-0011 佐渡市両津夷 14-3
TEL 0259-27-2006 ☎ 0120-59-4028

お参りの仕方と心得

- 一、札所に着いたらご挨拶をします。
 - (一) 門で合掌一礼します。
 - (二) 手を洗い、口を漱ぎ、身を清めます。
 - (三) 入り鐘を一回だけ撞きます。
 - 二、本堂、大師堂それぞれの正面でお参りします。
 - (一) 燈明・線香・賽銭を献納します。
 - (二) 写経・納札を納めます。
 - (三) 勤行します。(般若心経・光明真言・南無大師遍照金剛ほか)
 - 三、御朱印料を納めます。
 - 四、帰りにもう一度門で合掌一礼します。
- ※霊場めぐりは本来、修行の旅です。道中はマナーやルールを守り、お参り致しましょう。

佐渡八十八ヶ所霊場会発刊ガイドブック・納経帳



ガイドブック



納経帳

ご購入希望の方は下記HPアドレスまで

佐渡八十八ヶ所霊場会HPアドレス
<http://sadoreijoukai.jp/>

佐渡八十八ヶ所霊場会事務局

安照寺 第29番札所

〒952-0006 佐渡市春日 175
TEL 0259-27-2673

真楽寺 第3番札所

〒952-0312 佐渡市吉岡 1430
TEL 0259-55-2229

佐渡八十八ヶ所霊場案内

佐渡へんろ

仏と出会う旅

（空と海 お遍路さんの島）

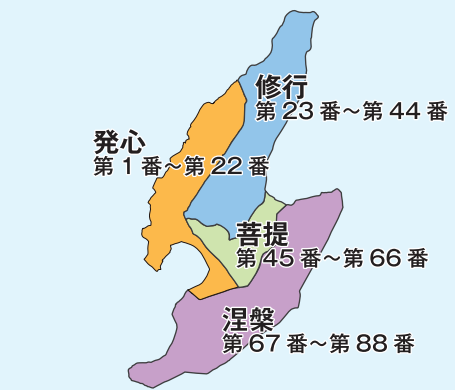


【**発心**】とは信仰心を起すこと…あなたは何を求めて佐渡へんろに出かけますか?心の安らぎを得るため、亡くされた大切な方の供養のため、あるいは一度きりの人生を見つめるため。お遍路に出ようと決心して行動を起すことが大事です。

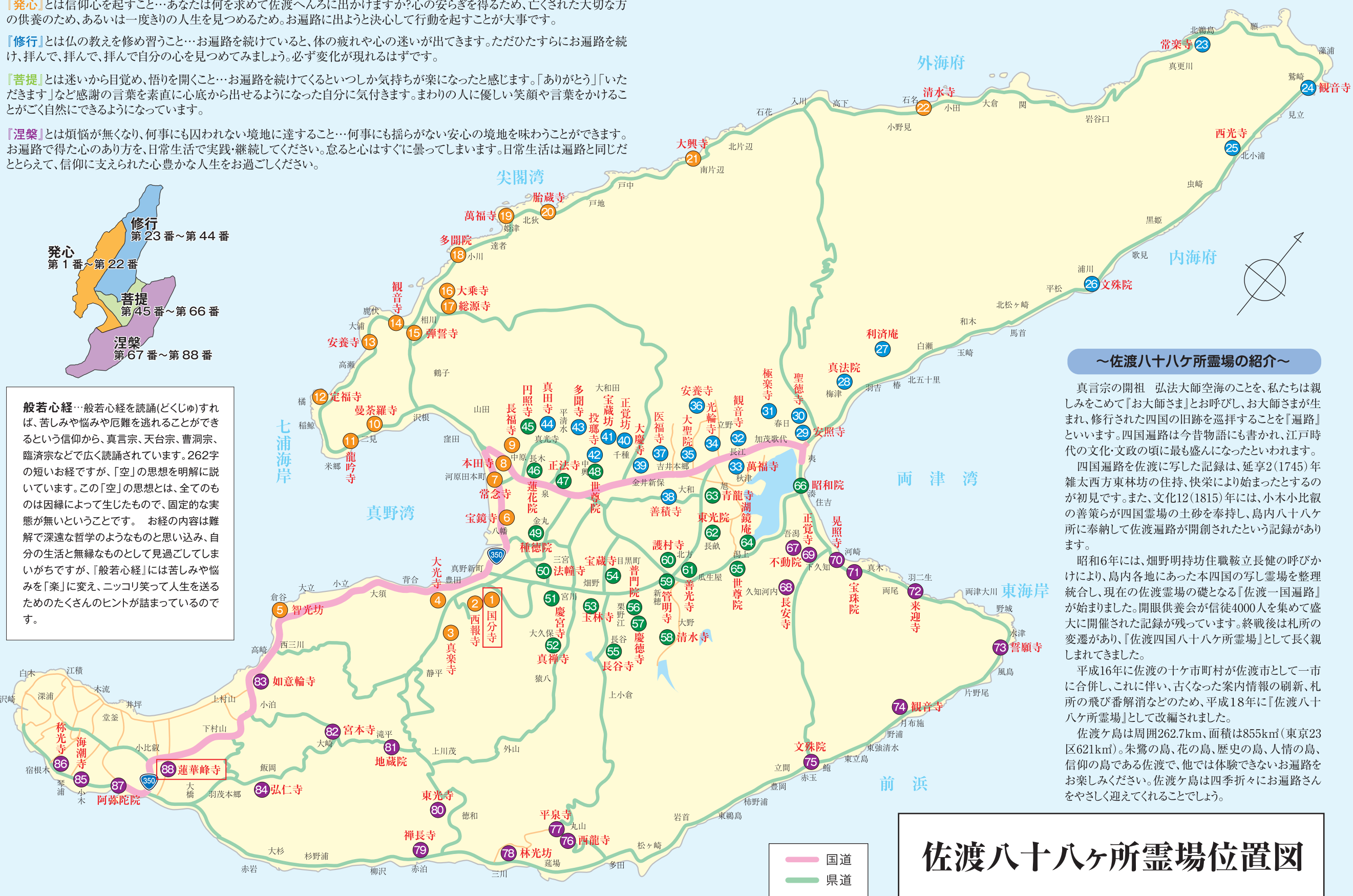
【**修行**】とは仏の教えを修め習うこと…お遍路を続けていると、体の疲れや心の迷いが出てきます。ただひたすらにお遍路を続け、拜んで、拜んで、拜んで自分の心を見つめてみましょう。必ず変化が現れるはずですよ。

【**菩提**】とは迷いから目覚め、悟りを開くこと…お遍路を続けてくるといつしか気持ちが楽になったと感じます。「ありがとう」「いただきます」など感謝の言葉を素直に心底から出せるようになった自分に気がきます。まわりの人に優しい笑顔や言葉をかけることがごく自然にできるようになっています。

【**涅槃**】とは煩惱が無くなり、何事にも囚われない境地に達すること…何事にも揺らがない安心の境地を味わうことができます。お遍路で得た心のあり方を、日常生活で実践・継続してください。怠ると心はすぐに曇ってしまいます。日常生活は遍路と同じだととらえて、信仰に支えられた心豊かな人生をお過ごしください。



般若心経…般若心経を読誦(どくじゆ)すれば、苦しみや悩みや厄難を逃れることができるという信仰から、真言宗、天台宗、曹洞宗、臨済宗などで広く読誦されています。262字の短いお経ですが、「空」の思想を明解に説いています。この「空」の思想とは、全てのものは因縁によって生じたもので、固定的な実態が無いということです。お経の内容は難解で深遠な哲学のようなものと思ひ込み、自分の生活と無縁なものとして見過ごしてしまいがちですが、『般若心経』には苦しみや悩みを「楽」に変え、ニコリ笑って人生を送るためのたくさんのヒントが詰まっているのです。



～佐渡八十八ヶ所霊場の紹介～

真言宗の開祖 弘法大師空海のことを、私たちは親しみをこめて『お大師さま』とお呼びし、お大師さまが生まれ、修行された四国の旧跡を巡拝することを『遍路』といいます。四国遍路は今昔物語にも書かれ、江戸時代の文化・文政の頃に最も盛んになったといわれます。

四国遍路を佐渡に写した記録は、延享2(1745)年雑太西方東林坊の住持、快楽により始まったとするのが初見です。また、文化12(1815)年には、小木小比叡の善策らが四国霊場の土砂を奉持し、島内八十八ヶ所に奉納して佐渡遍路が開創されたという記録があります。

昭和6年には、畑野明持坊住職鞍立長健の呼びかけにより、島内各地にあった本四国の写し霊場を整理統合し、現在の佐渡霊場の礎となる『佐渡一国遍路』が始まりました。開眼供養会が信徒4000人を集めて盛大に開催された記録が残っています。終戦後は札所の変遷があり、『佐渡四国八十八ヶ所霊場』として長く親しまれてきました。

平成16年に佐渡の十ヶ市町村が佐渡市として一市に合併し、これに伴い、古くなった案内情報の刷新、札所の飛び番解消などのため、平成18年に『佐渡八十八ヶ所霊場』として改編されました。

佐渡ヶ島は周囲262.7km、面積は855km²(東京23区621km²)。朱鷺の島、花の島、歴史の島、人情の島、信仰の島である佐渡で、他では体験できないお遍路をお楽しみください。佐渡ヶ島は四季折々にお遍路さんをやさしく迎えてくれることでしょう。

佐渡八十八ヶ所霊場位置図

